

令和4年度第4回 さいたま市廃棄物減量等推進審議会

議 事 録

日時 | 令和5年3月17日(金)

14:00~15:00

会場 | 本庁舎別館2階 第5委員会室

令和4年度第4回さいたま市廃棄物減量等推進審議会 議事録

1. 日時

令和5年3月17日(金) 14時00分開会 ～ 15時00分閉会

2. 場所

本庁舎別館2階 第5委員会室

3. 出席者(敬称略)

■ 出席委員

鬼沢 良子 磐田 朋子 永田 信雄 清川 静香 吉田 正信 小林 敦
野代 幸一 山崎 蓉子 小ノ澤 忠義

■ 欠席委員

川本 健 内田 宜宏 田口 ゆり子 小池 佑弥 大前 万寿美 一井 里映

■ 事務局

[環境局]

環境局長

[資源循環推進部]

資源循環推進部長 資源循環政策課長 廃棄物対策課長 外2名

[施設部]

施設部長 環境施設管理課長 環境施設整備課長

4. 次第

■ 開会

■ 議事

さいたま市一般廃棄物処理基本計画改定について

5. 議事録

■ 開会

■ 議事1 第4次さいたま市一般廃棄物処理基本計画改定について

鬼沢会長：本日は、議事2件となっております。さいたま市一般廃棄物処理基本計画の改定ですが、これまで平成30年3月に策定・公表した第4次計画を今年度見直すことになっており、前回の審議会では改定内容及び将来推計について委員の皆様からご了承いただいたと認識しております。最終的な計画改定案について審議していきたいと思っております。

(事務局から、資料1「第4次さいたま市一般廃棄物処理基本計画の改定について」の説明が行われた。)

発言内容

鬼沢会長：ただいまご説明いただいた点に関してご意見ご質問ございましたらお願いいたします。

野代委員：使用済みおむつについて、紙おむつ2トンに対して水が100トンとか120トン使う。これは大問題ですよね。この水というのは廃水なのですか。

事務局：志布志市の実証実験では水道水を使っている。さいたま市は工業用水の配水管が併せて土中にあるので、引き込み工事さえやれば県と調整してやれるのですが、まだまだ水を使う量と排水量がものすごく、そちらの方がかえって負荷がかかってしまうということで、まだまだ実験段階というところです。

磐田委員：紙おむつの件について、確かにこれから非常に重要な問題になってくる一方で、技術的にこのような状況なので、今年度先行して調査したという話ですが、次の手をどうするか、なかなか今のこの状況だと厳しいので、例えばですけれども繰り返し使える紙おむつとか、そういったものを少し調査してみるとか、もしかしたらそういった方向に普及啓発を押し進めていくことが必要になるのかなと思いました。

事務局：おむつからおむつにというのはまだまだで、でもこれは国とか花王なども実験を始めているというところで、おむつからおむつとか、おむつから活性炭を作るとか、広い視野でみていきたいと思っています。

野代委員：紙おむつについて、一般の人と事業者の人がいるが、一般の人はおそらくもえるごみで出していると思うが、これはおむつだという印をつけることは必要なのでしょうか。

事務局：さいたま市では必要ないです。紙おむつだけを志布志市は回収しているので、専用の回収袋がある。でもさいたま市はもえるごみで処理しているので、特につけなくても大丈夫です。

■ 議事2 さいたま市一般廃棄物処理基本計画について（答申）

鬼沢会長：次にさいたま市一般廃棄物処理基本計画についての答申ですが、昨年5月に事務局から諮問のあった第4次さいたま市一般廃棄物処理基本計画の改定について、答申案を審議するものです。審議にあたって、誠に僭越ながら私の方で案文を作成させていただきましたので、説明させていただきます。

（鬼沢会長から、資料4「パブリックコメント結果公表一覧」、資料5「答申書」の説明が行われた。）

清川委員：施策の（3）について、「利用しやすい安価なりサイクルルート」とあるのですが、安いのは安いでいいと思うのですが、やはり「適正な処理」や「サーマルではない」のどちらがいいのかわかりませんが、そういったところを加味した表現がいいのではないかと。安ければいいというのは、もちろん市の施策なので、そんなことはないと思うのですが、事業者側から見ると適正というのが気になりました。

磐田委員：もしかしたら安価というのは残しても適正という言葉は入ってもいいのかなと思いました。

鬼沢会長：事業系のごみの処理にお金を支払っている方々からすると安いと心配というのはありますね。

事務局：「安価で適正な」という形に直します。

鬼沢会長：そのように修正させていただきますがよろしいですか。

一 同：はい。

鬼沢会長：2番目のところはずっと言われてきているところではありますが、ますます今後こう言ったところが、事業者とのパートナーシップというのが重要になってくるかなと思いますので、大項目として入れさせていただいております。

（資料修正後、答申書の受領を鬼沢会長から環境局長に対し行った。）

閉会